

行政報告

令和元年第5回定例会

ふるさと納税が2倍以上に増加 第1子の保育料を無償化 浅利純子杯駅伝で花輪一中が優勝

令和元年第5回鹿角市議会定例会が8月30日から21日間の会期で開かれ、補正予算案などの議案が審議されました。初日に行われた市長の行政報告の概要は次のとおりです。

■鹿角ブランドの推進

今年度の「かづの高校生広報室」は、市内の5人の高校生がメンバーとなり、第3期目となる活動がスタートしました。

それぞれの鹿角に対する深い愛着と、高校生ならではの感性を生かした情報発信力に、大いに期待しており、メディアやSNSなどを通じて若い世代の関心を集められるよう、活動をサポートします。

■ふるさと鹿角応援寄附

7月末現在の寄附件数は2175件で、金額は2978万9千円となっております。前年同期と比較し2・4倍

くりを進めます。

■子育て支援

今年10月から、3歳から5歳までの全ての子どもと、住民税非課税世帯の2歳以下の子どもに保育料が無償化になることを受け、本市では、課税世帯の2歳以下の子どものについてもこれまで助成を行ってきた第2子以降に加え、第1子の保育料無償化を行います。

また、国の制度変更では、これまで保育料に含まれていた3歳から5歳までの副食費が無償化の対象とならないことから、本市では保護者の負担を増加させないよう、すこやか子育て支援事業において保育料に加えて、新たに副食費も助成の対象とします。

■北限の桃の販売促進

主力品種の「川中島白桃」は、開花時期の低温により、着果数がやや少ない傾向にあるものの、果実は順調に肥大しています。来週には、首都圏市場でセールのを行い、「かづの北限の桃」のおいしさを市場関係者などに

と大幅に増加しています。

これは、従来からのポータルサイトに加え、新たに「楽天」サイトの利用を開始し、それぞれのサイトが持つ機能を効果的に活用するとともに、返礼品の取扱いを市内事業者に委託し、特産品の特徴や生産者の想いなどもアピールできたことが、本市の魅力向上と寄附の増加につながったものと分析しています。

■ホストタウンの推進

オリンピックをきっかけとした本市のPRやレガシーの創出による地域の活性化を図るため、7月26日にみちのくコカ・コーラボトリング株式会社と

「ホストタウンプログラムの推進に関する協定」を締結しました。

これにより、同社が新たに公共施設に設置した自動販売機のラッピングを通じて、本市が会場となる聖火リレーのPRを行うほか、売上の一部を寄附金として、ホストタウンプログラムに費用に充てさせていただきます。

■移住の促進

移住プログラムを活用した移住者数は、取り組みを開始した平成27年度からこれまでに119世帯199人となり、40代までの比較的若い世代が約8割を占めています。引き続き、

メディアを活用した積極的な情報発信や、NPO法人と連携したサポート体制の充実を図りながら、きめ細やかな移住促進策を進めます。

■防災体制の充実

7月26日に、一般社団法人秋田県解体工事業協会と「災害時における応援協力に関する協定」を締結しました。これにより、大規模災害が発生し、応急復旧に対応できる業者が不足する場合には、協力事業者の確保のほか、建設機械の提供や技術員の派遣協力を直接受けることが可能となりました。今後、市民生活の安全確保に向けた体制を整え、安全・安心なまちづ

込み数は1万8千人となりました。全国民俗芸能「風流」保存・振興連合会に参画するなど、ユネスコ無形文化遺産の登録を目指す動きも活発化しており、地元の盛り上がりとともに、今後の活動に期待しています。

■プレミアム付商品券の販売

消費税引き上げによる家計への影響緩和と、地域消費を下支えするため、今年度の住民税が非課税の方および3歳未満の子どもがいる子育て世帯の方を対象に、プレミアム付商品券を販売します。申請された方には9月中旬から引換券を発送し、多くの対象者に購入していただけるよう、購入方法や使用できる店舗などについて、広く周知します。

■主な夏祭りの入り込み数

花輪ばやしの入り込み数は、昨年より約4%減の22万人でしたが、平日開催にもかかわらず、1日目の観客席は満席となりました。これは、これまで首都圏や仙台などで継続的に行ってきた各イベントでのPR効果によるものと捉えています。

毛馬内盆踊りは、一般の踊り手のほか、地元の中・高校生や保育園児の参加も見られ、入り

■新エネルギーの活用推進

県内初の自治体出資による小売電気事業者である「株式会社かづのパワー」の創立総会を7月10日に開催しました。今後は、来年4月の供給開始に向け、ライセンスの申請や料金メニューの検討などを進めると

もに、市民の理解と協力を得ながら、新エネルギーを活用した産業振興を進めます。

■大湯環状列石を含む「北海道・北東北の縄文遺跡群」が世界文化遺産登録推薦候補に

大湯環状列石を含む「北海道・北東北の縄文遺跡群」は7月30日の文化庁の文化審議会において、昨年に続き、世界文化遺産推薦候補に選定されました。今年度は、確実に国内推薦を受けられるよう、関係自治体とより一層の連携を図りながら、2021年の登録実現に向けて取り組みを進めます。

■浅利純子杯争奪鹿角駅伝

7月27日開催の「浅利純子杯争奪第13回鹿角駅伝」では、青森・岩手からの参加を含む53チームにより熱戦が展開されました。中学校男子の部で花輪第一中学校が3年ぶり7回目の優勝を飾るなど、地元小・中学校の活躍により、会場となった花輪商店街は大きな盛り上がりを見せました。

総務課 行政班 ☎30・0203



行政報告を行う児玉市長



高校生広報室員が果樹選果場取材



災害時の応援協定を締結



北限の桃贈呈式



大湯環状列石が世界文化遺産推薦候補に



最終区で逆転し優勝を飾った花輪第一中学校